

防コミの歩き方



災害に、協力して立ち向かえる地域をめざして

月が丘防災福祉コミュニティは、月が丘ふれあいのまちづくり協議会（以下、ふれまち）の一部門として活動し、運営はふれまち防災防犯部会が担っております。

毎月おこなわれるふれまち定例会の前日の夜に集まり、防災・防犯に関する話し合いを持ち、その後、地域全体をパトロールし、住民が安心して暮らせるよう、見守りや、行事の企画などをおこない、地域住民が防災に関心を持つよう、啓発に努めています。

1 地域総合防災訓練

毎年、西消防署の指導を仰ぎながら防災リーダーの指揮の下、消火訓練、防災資機材の取扱訓練、搬送訓練等を実施し、防災士の協力も得て、防災グッズ、保存食の展示などを行っています。今年は消防音楽隊の演奏で非常に盛り上がり、最後に炊き出し訓練をおこない、解散となりました。



地域総合訓練（バケツリレー）

2 施設見学会

毎回130人からの参加があり、バス2～3台で三木市の「三木総合防災公園」や神戸市中央区の「人と防災未来センター」等の防災施設見学を企画し、地域の人が防災意識を持っていただくようにしています。地震の揺れを体験したり、火災時に煙の中を逃げ

る体験で恐怖を味わったり、阪神・淡路大震災の映像を見てどれほど大変な災害だったかを体験したりして、災害が発生したらどのように行動するか考える良い機会になっています。

3 その他の活動

6月になると、水道局と連携して月が丘小学校にある「いつでもじゃぐち」と水道タンクの緊急遮断弁で小学生と給水訓練をします。地震時の話もして小学生にいざという時は、月が丘小学校に駆けつけてボランティアとして大人の手伝いをするように伝えていきます。

その他、市民救命士の講習会の開催、年末の拍子木を叩きながらのパトロールなど、安全安心な地域であるように、地域を挙げて取り組んでおります。

また、今年度、地域の災害初動時の対応計画書である「地域おたすけガイド」を作成中で、災害時の初動体制を整え、いつどのような災害が起きても被害を最小限度にとどめられるように、地域で協力して活動を続けていきたいと思っております。



地域おたすけガイド ワークショップ

（月が丘防災福祉コミュニティ

委員長 福永君江）